

# 令和2年度6月補正予算の概要

令和2年6月萩市議会定例会

令和2年6月

萩市財務部財政課



## ● 今回補正する会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（11事業のうち新規10事業）及び国民健康保険事業（事業勘定）特別会計（2事業のうち新規1事業）の2会計で、全13事業（うち新規11事業）です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第5号	1億6,673万円
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計	第1号	897万3千円
一般会計＋特別会計の補正予算額 計		1億7,570万3千円

## ● 一般会計

### 1. 補正予算の概要

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ緊急的に対応した、第1号から第4号補正予算に続く第5弾として、収入減少により、厳しい生活を強いられている子育て世帯を支援する事業、感染症終息後の反転攻勢に転じるための観光基盤を整備する事業、新型コロナウイルスに感染された方等に、傷病手当を拡充して支給する事業など、経済的負担の軽減や反転攻勢を見据えた事業等を計上するものです。

また、離島航路補助金の追加補正を行う事業、工場の新増設に対し、奨励金を交付する事業、老朽化の著しい萩城跡（仰徳神社）の保存修理に着手する事業、高等学校の魅力化に取り組む事業等、当初予算編成後の状況の変化により早期に取り組むべき課題に対応するものです。

### 2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
355億1,383万8千円	1億6,673万円	356億8,056万8千円

### 3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	595万7千円	
県支出金	5,963万4千円	
繰入金	8,393万9千円	基金繰入金
諸収入	1,130万円	雑入
市債	590万円	
合計	1億6,673万円	

### 4. 歳出予算の主な事業内容

#### ●<新規>コミュニティ助成事業（500万円）

【予算説明書8ページ 地域振興費】  
（担当課：市民活動推進課）

地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（活動に直接必要な備品等の整備）について、下記のコミュニティ組織が事業採択を受けたことから、必要な経費を補正します。

なお、市が助成金を受け入れ、同額を補助金として各コミュニティ組織に交付します。

事業内容：須佐地域ふるさとづくり協議会  
テント、会議用テーブルの購入  
福栄コミュニティ協議会  
テント、移動式ポータブルアンプ等の購入

[財源内訳] 雑入（自治宝くじ助成金） 500万円

## ●＜新規＞音声付触知図案内板導入事業（638万円）

【予算説明書 8 ページ 社会福祉総務費】  
（担当課：福祉政策課）

全ての市民にやさしいまちづくりを推進するため、昨年7月に開館した萩市総合福祉センターの正面入口に、視覚障がい者の方等にも安心して利用していただけるよう、音声付触知図案内板を導入します。

〔財源内訳〕 雑入（自治宝くじ助成金） 630万円、一般財源 8万円

## ●＜新規＞がんばろう萩！子育て世帯応援事業（3,936万5千円）

【予算説明書 9 ページ 新型コロナウイルス感染症対策費】  
（担当課：企画政策課）

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている子育て世帯に対し、市内共通商品券を支給することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

また、家計の急変やアルバイト収入の減少等により厳しい生活を強いられている学生等を支える子育て世帯に対し、萩産品の詰め合わせ等をお届けすることにより、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

### ○18歳以下の子を持つ世帯への支援

事業内容：子ども一人あたり5,000円相当の市内共通商品券を支給

対 象：令和2年6月30日に、萩市に住民登録がある世帯

要 件：平成14年4月2日から令和2年6月30日までに生まれた子ども

要件を満たす子の数：5,465人（見込み）

### ○学生等を支える世帯への支援

事業内容：子ども一人あたり5,000円相当の市内共通商品券又は、5,000円相当の萩産品の詰め合わせを支給

対 象：令和2年6月30日に、要件を満たす学生等の保護者の世帯で萩市に住民登録がある世帯

要 件：令和2年6月30日に、大学院、大学、短期大学、専修学校又は各種学校（専門学校並びに予備校等）等に在籍する子ども

要件を満たす子の数：1,368人（見込み）

〔財源内訳〕 一般財源 3,936万5千円

## ●<新規>がんばろう萩！傷病手当拡充給付金事業（248万6千円）

【予算説明書 9 ページ 新型コロナウイルス感染症対策費】  
（担当課：市民課）

新型コロナウイルスに感染された方、又は発熱等の症状があり感染が疑われる方が安心して治療が受けられるよう、労務に服することができなくなった場合の傷病手当を拡充して支給するため、必要な経費を補正します。

支給対象日数：労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間のうち就労を予定していた日数

支 給 額：1日当たりの支給額（直近3月間の平均給与収入の3分の1）  
×支給対象日数  
※3分の2については、各保険者負担

対 象 期 間：令和2年1月1日から9月30日まで

〔財源内訳〕 一般財源 248万6千円

## ●<新規>集落営農法人連合体育成事業（406万6千円）

【予算説明書 9 ページ 農業振興費】  
（担当課：農政課）

集落営農法人連合体による規模拡大、低コスト化等に向けた取組を支援します。

事業主体：（有）アスクむつみ

事業内容：無人ヘリコプターの導入

総事業費：1,220万円（税抜き）

負担割合：県 1/3、事業主体 2/3

〔財源内訳〕 農林水産業費県補助金 406万6千円

### ●＜新規＞繁殖農家緊急支援事業（84万円）

【予算説明書 9 ページ 畜産業費】  
（担当課：農政課）

和牛DNA不一致問題に伴う風評被害による市場出荷牛の価格下落防止のため、DNA鑑定をした生産者に対し、費用の一部を支援します。

事業内容：1 頭あたり 3,000 円を補助

[財源内訳] 一般財源 84 万円

### ●離島航路事業（6,721 万 6 千円）

【予算説明書 10 ページ 商工業振興費】  
（担当課：商工振興課）

離島住民にとって唯一の公共交通機関である離島航路を維持するため、運航に伴う欠損額を国・県・市で支援しています。今回、離島航路補助金の国庫補助額及び県補助額が決定したことから、必要な経費について追加補正を行います。

[財源内訳] 商工費県補助金 5,556 万 8 千円、一般財源 1,164 万 8 千円

### ●＜新規＞企業立地対策事業（1,425万円）

【予算説明書 10 ページ 企業誘致推進費】  
（担当課：企業誘致推進課）

市内に工場を新設又は増設することにより、雇用機会を創出・拡大し、産業の振興に貢献しようとする事業者に対し、奨励金を交付します。

奨励金の額：固定資産投資額の 5%

[財源内訳] 一般財源 1,425 万円

●<新規>がんばろう萩！観光客受入環境整備事業  
(1,251万1千円)

【予算説明書 10 ページ 観光振興施設費】  
(担当課：観光課)

新型コロナウイルス感染拡大により、低迷する観光需要の回復に向けて、観光客の受入環境充実のため基盤整備を行います。

事業内容：萩城下町面的Wi-Fi整備  
萩城下町（城跡）多言語看板設置

[財源内訳] 商工費国庫補助金 595万7千円、市債 590万円  
一般財源 65万4千円

●<新規>高校魅力化支援事業（331万9千円）

【予算説明書 11 ページ 事務局費】  
(担当課：産業戦略室)

市内高等学校の魅力化を図るため、高校大学連携型の萩版人材育成モデルとして、大学との連携による市内高校生を対象にした探求学習支援による人材育成プログラムを実施し、学生の情報活用、課題解決、コミュニケーション、表現などの能力を養成し、進学や就職のサポートに取り組むため、必要な経費を補正します。

事業内容：高校魅力化支援業務委託

[財源内訳] 一般財源 331万9千円

●<新規>萩城跡（仰徳神社）保存修理事業（1,129万7千円）

【予算説明書 11 ページ 文化財保護費】  
(担当課：文化財保護課)

萩城跡内の志都岐山神社隣に、明治時代に移築された仰徳神社本殿の老朽化が著しいため、解体工事を行います。

事業内容：部材を解体し、倉庫で保管

[財源内訳] 一般財源 1,129万7千円



## ● 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

### 1. 補正予算の概要

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症に感染された方等に傷病手当金を支給する事業、国民健康保険保険給付費等交付金の返還金の不足額を予算計上するものです。

### 2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
70億700万円	897万3千円	70億1,597万3千円

### 3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
県支出金	119万円	
諸収入	778万3千円	雑入
合計	897万3千円	

## 4. 歳出予算の事業内容

### ●＜新規＞傷病手当金支給事業（119万円）

【予算説明書 18 ページ 傷病手当金】  
（担当課：市民課）

新型コロナウイルスに感染された方、又は発熱等の症状があり感染が疑われる方が、労務に服することができなくなった場合に、傷病手当金を支給するため、必要な経費を補正します。

支給対象日数：労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間のうち就労を予定していた日数

支給額：1日当たりの支給額（直近3月間の平均給与収入の3分の2）  
×支給対象日数

対象期間：令和2年1月1日から9月30日まで

〔財源内訳〕 保険給付費等交付金 119万円

### ●保険給付費等交付金返還事業（778万3千円）

【予算説明書 18 ページ 償還金】  
（担当課：市民課）

国民健康保険保険給付費等交付金に係る令和2年2月診療分の確定に伴い、返還金の不足額を補正します。

事業内容：県に1,828万2,636円返還  
（当初予算 1,050万円計上済）

〔財源内訳〕 雑入（保険給付費等返還金） 778万3千円